

がくねんつうしん  
学年通信から

【2年生】(10/23号) ちいきたんけん～中林牧場～

10月16日(火)、生活科で中林牧場にたんけんに行きました。行く前に、子どもたちは、知りたいことを書きました。「牛は何頭いるんですか。」「牛はどこからきて、どこに運ばれるのですか。」「いつから牧場をしていますか。」など、子どもたちは、たくさんの知りたいことを書くことができました。

また、たんけんのめあてと、やくそくについても考えました。「しっかり聞いて、たくさんべんきょうする。」「大きな声を出さない。」「走らない。」「お話をきちんときく。」など、自分たちでこれらのめあてとやくそくを考えることができるようになったことに、成長を感じました。

そして、楽しみにしていた当日をおかえました。牧場主の中林真一郎さんと、この日のために、特別に中林 歩さん(ゆうせいさんのお父さん)が来てくれて、笑顔で子どもたちをおかえてくれました。

くつのうらの消毒をして、さっそく牛舎の中に子どもたちを入れてくれました。たくさんの大きな牛の中を歩く子どもたちは、少しこわそうでしたが、そのうちにゆっくり手をのばして、牛の鼻先をなでたり、えさのわらをあげたりするすがたが、見られるようになってきました。

その後、質問タイムになりました。事前に考えてきた質問だけでなく、今見た牛のことから、たくさんの質問をすることができました。牛舎の中にいた時間は、それほど長くはありませんでしたが、細かいところまで見ていたことに感心させられました。

そして、次から次へと、とぎれることなく出てくる質問にも、中林さんやゆうせいさんのお父さんは、子どもにわかりやすいように、ていねいに笑顔で答えてくださいました。

最後に牛ともう一度、ふれあいをしてお礼を言って帰りました。

今まで知らなかった牛のことや、牛を飼う仕事のことを知るだけでなく、牛とふれあうことでやさしい気持ちがうまれたり、やさしい人と出会うことで自分の地域を今まで以上にすきになったりする経験ができたのでは、ないでしょうか。



1・2年生 大きいおいもがいっぱい獲れました ～川東老人会の方との交流～ (10/31)

毎年、1年生と2年生の子どもたちは、川東老人会の方に教えてもらって、さつまいもを育てています。5月に植えたさつまいもの苗は、今年の暑さでぐんぐん育ち、例年以上に、大きいさつまいもがたくさん獲れました。

はじめに、老人会の方から、「芋は傷がつきやすいから、丁寧に掘ることが大切だよ。」と教えてもらった子どもたちは、とっても丁寧に掘っていたのが印象的でした。次から次へと出てくる芋に、子どもたちは大喜びでした。芋を運ぶときには、その重さに、思わずよろけてしまいそうになっていた子どももいました。

今回獲れた芋は、老人会の方と焼きいもをして食べる予定です。また、1・2年生の子どもたちには、家に持って帰ってもらいますので、是非、お子さんと一緒に料理をして、ご家族でお召し上がりください。

